

# 伊集院保健所感染症情報

2026年第10週（令和8年3月2日～令和8年3月8日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症

**管内流行発生警報発令中：インフルエンザ**

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第7週	第8週	第9週	第10週	先週からの増減	第9週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	176.00	174.50	83.50	68.50	↘	58.60	↘
インフルエンザ	30	10	10	126.50	96.50	38.00	18.00	↘	24.02	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.21	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.94	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	8.00	3.00	6.00	4.00	↘	1.84	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	4.00	8.00	11.00	3.00	↘	7.42	↘
水痘	2	1	1	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	→
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	1.00	2.00	0.00	↘	0.55	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.23	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
RSウイルス感染症	—	—	—	3.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.61	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## TOPIC 麻しんに注意しましょう

3月6日から9日の間に、鹿児島市保健所、川薩保健所に麻しん患者の発生届がありました。

### 麻しん（はしか）について

#### 1 症状

- 感染すると約10日後に発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血等の症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- 肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で、脳炎が発症すると言われています。

#### 2 感染経路

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

また、発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する1日前から解熱後3日間まで（全経過を通じて発症がみられなかった場合、発疹出現後5日間まで）とされています。

3 潜伏期間

約10日～12日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

5 予防方法

- ・ 麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗いやマスクのみでは予防できません。
- ・ 予防接種が最も有効な予防策です。麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）は予防接種法で定期予防接種の対象（第1期：1歳児，第2期：小学生就学前の1年間）とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。
- ・ 急な全身性の発疹や発熱などの症状が現れたら、早めにかかりつけ医等を受診してください。
- ・ 学校等は集団発生を起ししやすい場であることから、定期接種を受けていない小学生、中学生、高校生、大学生等について接種勧奨を行ってください。
- ・ 職業上感染の拡大の影響のある医療関係施設、保育施設、学校等においては、職員等の予防接種の必要性について検討してください。

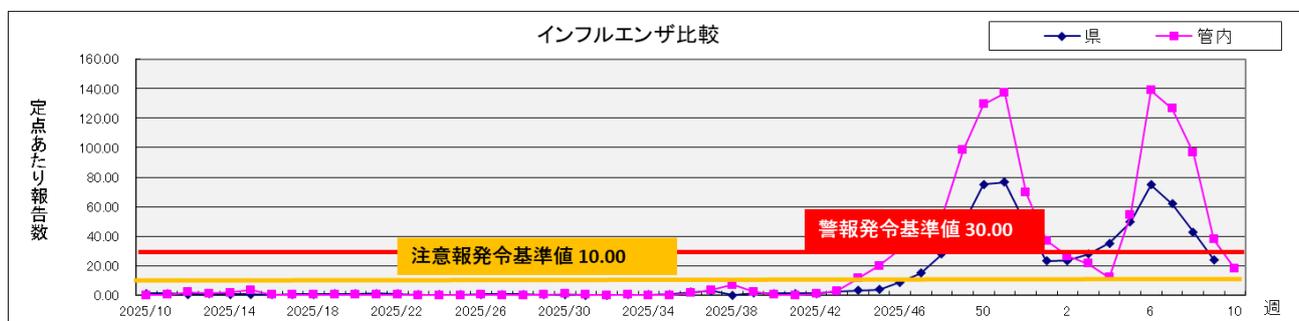
6 留意事項

麻しんを疑う症状があった場合は、早めにかかりつけ医等を受診してください。医療機関を受診する際は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い受診してください。

また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避けてください。

● **注意すべき感染症**

・ **インフルエンザ（流行発生警報発令中）**



第10週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、第9週の76人（定点当たり38.00）から40人少ない、36人（定点当たり18.00）です。年齢別では、10～14歳（10人）、1歳（6人）、9歳（4人）、5歳・7歳（各3人）、3歳・6歳・8歳（各2人）、2歳・4歳・15～19歳・30～39歳（各1人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

○ **学校における感染症による出席停止の状況3/2～3/8**（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが30人（型不明24人，B型6人）、感染性胃腸炎2人，溶連菌感染症2人が報告されています。

自治体名	疾患名 インフル エンザ	インフル エンザA型	インフル エンザB型	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症
日置市	24	0	4	2	1
いちき串木野市	0	0	2	0	1
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	24	0	6	2	2